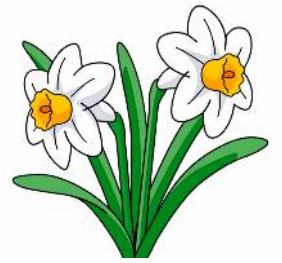
あおぞら級だより　第１２号

# 先んが

立山町立釜ヶ渕小学校
Ｒ２．３．５

## 春の息吹　3月



２月は、日差しが明るく春の訪れを感じさせる日と、雪が降り積もり春はまだ遠いと感じさせる日との繰り返しでした。グラウンド横のスイセンもその自然の動きに困っていたのではないでしょうか。２月中旬には、いち早く花を開いたのですが、その後の降雪と寒さで潰されていました。３月になって再び元気を取り戻し、きれいな花を開き、春の息吹を感じさせています。

子供たちも１年間の成長をまとめる時期になりました。いろいろな出来事があった１年間を振り返り、確かな成長を刻み、６年生につなぎたいと考えています。今月もよろしくお願いします。

## ○　特別支援級　オンライン交流会　○

２月２４日、オンライン交流会をしました。今回は、「卒業する６年生への感謝」をテーマに、各校がそれぞれの発表をしました。本校は、「①歌『あなたにありがとう』、②クラッカー、投げテープ」で感謝の気持ちを表す発表を考えました。クラッカーは、Ａさんの提案で、手作りすることにしました。そこで、インターネットで作り方を調べて準備を進めました。当日は、他校の６年生がこれまでの合同学習会の思い出も発表しました。Ｔさんはその一人一人の発表に拍手を送っていました。

来年度は、ＡさんもＴさんもリーダーとして活躍する年です。合同学習会が実施され、リーダーとして活躍してほしいと願っています。

## ○　がんばった版画作品　○

Ａさんの作品

Ｔさんの作品

今年はパズル版画に取り組みました。パズル版画は、彫った後、糸のこぎりを使って切り離し、それぞれに違う色を置いて、最後は一つに仕上げていきます。今回のテーマは、「考えている自分」です。文集の内容と関連させ、「ひばり野」の原稿を考えている自分を描くことにしました。Ａさんは室堂散策のこと、Ｔさんは常願寺川探検のことを描きました。Ｔさんは、彫刻刀の彫る方向を考えながら、立体感を表すように彫る作業を進めました。Ａさんは、糸のこぎりの使い方が分かり、板を上手に動かしながら滑らかに切っていました。できあがった作品に満足したようでした。

## ○　卒業を祝う集会　○

３月３日、卒業を祝う集会をしました。今回は発表だけでなく、いろいろな準備や進行上の役割も担いました。まずは、全校ダンスの指導に、集会の１週間前からＴさんは３年生教室へ、Ａさんは２年生教室に出かけました。当日は、各学年の発表に合わせて在校生を誘導したり、集合整列の目印となるミニカラーコーンを管理する仕事を行いました。また、集会の準備や後始末を進んで手伝う様子など、最高学年に向かう姿が見られたと感じました。

・６年生への感謝が伝わった集会だと思いました。５年生の発表の「ふむふむ」と言うのは、まあまあだったけれど、きちんとできたのでよかったです。（Ａ）
・全校ダンスは、前は全くおどれなかったけれど、今では体を大きく動かしてできるようになったので、うまくなったと思いました。片付けもがんばりました。（Ｔ）

## ○　6年生との交流体育　○

６年生が、下級生や先生方の役に立ちたいと、「おたすけプロジェクト」をしてくれました。あおぞら級は、縄跳びやボール投げを教えてもらいました。Ａさんには、ドッジボールで活躍できるように６年生が動いてくれました。Ｔさんには、縄跳びの難しい技ができるように、縄の持ち方などのこつを教えてもらいました。二人とも、汗びっしょりになって運動を楽しむことができました。

## ○　委員会活動を終えて･･･　○

今年度最後の委員会の時間、６年生から１年間を振り返っての賞状が各委員に渡されました。Ａさんがもらった賞状は「放送名人で賞（笑顔さわやかクリーン委員会）」、Ｔさんは「委員会活動を熱心に取り組んだで賞（本と友達になろう委員会）」でした。Ａさんは、はきはきとした放送を行っていたから、Ｔさんは委員会活動を忘れずに取り組んでいたからだそうです。６年生がよく見てくれていたことに感心すると共に、二人とも、しっかり委員会活動を行っていたのだと安心できました。

### ＜　担任の「あおぞら日記」　＞

国語で「この本おすすめします」の学習をしました。まず、本を選びに図書室へ行ったのですが、なかなか決まりませんでした。山多司書とも相談し、１冊の本を選びました。次の時間、お勧めの理由を考えたのですが、「ぼくの決めた本でない。」と、鉛筆が進みませんでした。やる気を出したのが、各学年へ紹介に行くと決めてからでした。Ａさんは４年生に、Ｔさんは２年生に紹介することに決めました。

紹介文ができ上がり、紹介に行く日。２人とも、原稿用紙に教室に入る時の話す言葉をメモしました。リハーサルでは、Ａさんはアドリブを交えながら話していました。ところが本番、緊張したのか、アドリブは出ず、そのメモ通りに話していました。Ｔさんはあわてることなく、質問にも答えていました。

その後です。できた紹介文に満足したのか、図書室に掲示してもらうことに決めたのです。今回はリハーサルなしに山多司書にお願いし、掲示してもらいました。

最初はこの学習にあまり乗り気ではない様子だったのに、「本当に、紹介するの？」とつぶやいた一言で学習に変化が生まれました。これからもこのような誰かと関わることのできる学習にしていきたいと思いました。